

# 地区だより

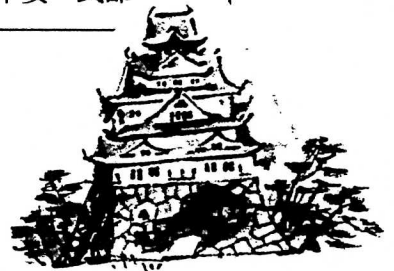
VOL 16 1992.6.9  
発行 西湘放射線技師会

新年度を迎え、会員の皆様も多忙な毎日をお過ごしのことと  
思います。西湘放射線技師会も、平成4年度の活動を開始致  
します。

本年度の当会は非改選期でありますので、役員は前年度通り  
同じ顔ぶれで会務を遂行してまいります。会員各位、並びに  
賛助会員諸兄の御協力をお願い致します。

(社) 神奈川放射線技師会は役員改選が行なわれ、栗田会長が  
勇退され新しく、落会長以下新執行部が信任されました。  
全国的にもめずらしく、多くの若い方々が役員に就任しまし  
た。落会長は重点目標の一つとして「地域技師会の活性化」  
を掲げています。この目標達成には、会員の皆様が会のプロ  
グラムに一人でも多く参加していただくことが不可欠です。  
西湘放射線技師会はもとより、県技師会のプログラムにもぜ  
ひふるって御参加いただき、聞くことは良く聞き、言いた  
いことがあったら好きな事を発言して、日頃のストレスを発散  
していただきたいと思ひます。

西湘放射線技師会会長 千安 式部



## 総会報告

さる4月17日、足柄上病院1号館4階会議室において平成4年度総会が開催されました。

出席会員数35名、委任状24名にて過半数を満たし総会が成立しました。

議長 静 英亨  
書記 佐藤 英俊  
三上 佳宏

議題 平成3年度 事業報告  
平成3年度 会計報告  
平成3年度 監査報告 各々承認された。

### 事業計画案

学術担当 坂本氏

研究会 2回（6月・10月）

今年度は会員技師からの研究発表なりパネルディスカッションを考え施設及び会員に協力を要請する。

福利厚生担当 奥村氏

7月ないし8月頃にレクリエーション予定

（毎回地曳き網なので今回は別の行事となる可能性もある）

平成5年度の1月頃賀詞交換会を行なう予定。

編集担当 徳安氏

（地区だより）を例年通り年3回（6月・10月・1月）発行の予定

以上の平成4年度事業案・予算案について賛成多数で可決される。

千安会長より

- 神奈川県放射線技師会で役員改選があり、千安氏が理事になる。
- 支部活動の活性化を計る（西湘地区の活動は良く評価されているが、他地区は問題を多く抱えている）
- 技師会と技術学会を分離して活動運営する、支部会費を技師会6000円 技術学会2000円として支出する。
- 平成6年度の放射線技師会学術大会を横浜で行なうように立候補する。
- 精度管理委員会に西湘地区から、役員を出すようになるもようである。

## 地区委員会報告

第51回神奈川放射線技師会、技術学会神奈川支部会が3月28日に開催され平成4・5年度役員改選も行なわれた。

会長 蒔 利彦 (済生会横浜南部病院)  
副会長 長谷川 武 (川崎市立川崎病院)  
村山 弘 (北里大学)

当技師会より千安 式部 (学術委員長)・百瀬 宏 (監事) 両氏が就任しました。

○地区委員会が組織委員会と名称を変更しました、詳しくは会誌No118 を参照下さい。

○県技師会各委員会・役員会・理事会今年度開催予定

		組織委員会	
三役会	毎週月曜日	ブロック会長会議	各月 (偶数月)
理事会	毎月第四木曜日	地区委員会	各月 (奇数月) 第三木曜日
総務委員会	毎月第一月曜日	学術委員会	毎月第一木曜日
		編集委員会	毎月第一水曜日
		厚生事業委員会	毎月第二水曜日
		保健事業委員会	毎月第二金曜日

○ブロック会長会議とは各地区の技師会会長又は、代表者が県放技役員との意見交換と会の発展・充実を計る目的で作られたものです。

○お知らせ

### 神奈川放射線学術大会

テーマ 「日本人と大腸がん」

日時 平成4年6月21日 9:00 ~16:00

会場 横浜西公会堂

会費 無料

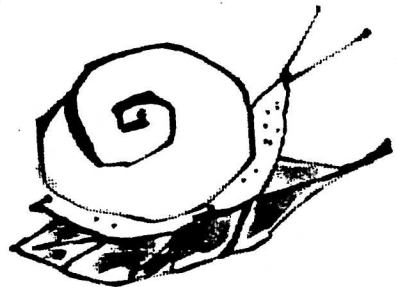
### 地引き網大会

主催 湘南放射線技師会

日時 平成4年7月11日

会費 2千円

詳しくは地区委員まで



## 春季勉強会のお知らせ

胸部撮影アンケートの際には、会員のご協力により、31施設のご回答をお寄せ頂きありがとうございました。紙面をかりてお礼申し上げます。

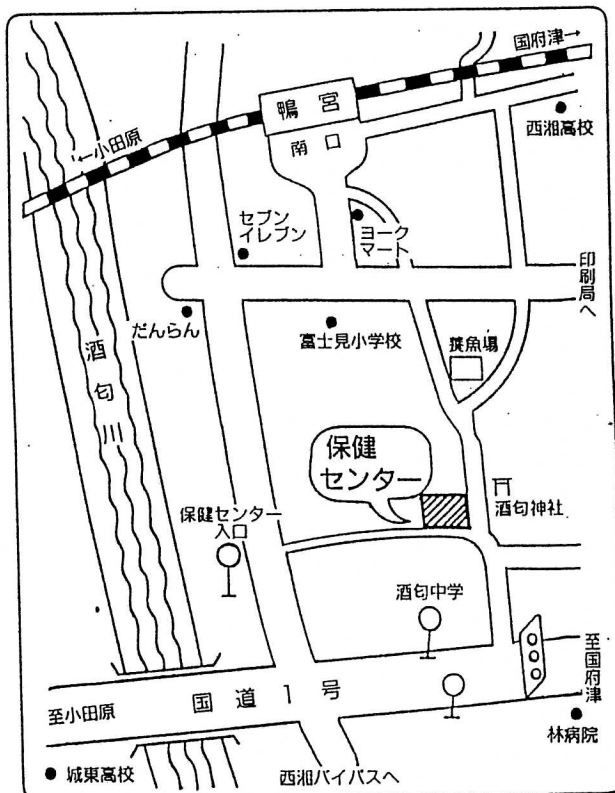
今回は、この結果とともに下記の要領にて勉強会を開催致しますので、皆様お誘い合わせの上ご出席をお願い致します。

期 日 平成4年6月26日(金) 午後6時30分～8時30分

場 所 保健センター 大会議室

### プログラム

1. 西湘地区における胸部撮影アンケートの報告 高野 紀三夫
2. 特別講演 『胸部の撮影技術について』 北里大学放射線部係長 上前 忠行 先生
3. 会員からの胸部写真の提供によるディスカッション



○JR東海「鴨宮」南口  
徒歩15分

○箱根登山バス  
(小田原～国府津)  
「酒匂中学」下車徒歩5分

# 西湘地区放射線機器リスト (CT・MR編)

1992年5月現在

施設名	機種名	会社名	稼動開始年月	月平均人数
小田原市立病院  MR	VERTEX 3000	横河	平成 2年10月	540人
	TCT-60A	東芝	昭和62年12月	110人
	RESONA	横河	平成 2年10月	21人
足柄上病院  MR	TCT-900S	東芝	昭和63年 4月	350人
	MKH-500	日立	平成 3年 3月	100人
山近病院  MR	SCT-2500T	島津	昭和62年 7月	270人
	SMT-100X	島津	平成 3年 9月	90人
湯河原厚生年金病院	CT-W3-30	日立	昭和58年 4月	180人
湯河原胃腸病院	Image max	横河	昭和61年 5月	100人
西湘病院	CT-W400	日立	昭和63年 6月	120人
小林病院	SCT-3000CT	島津	昭和63年 9月	130人
小沢病院	CT/ CT8800	GE	昭和57年 5月	290人
間中病院	CT/ CT8600	横河	昭和60年 6月	100人
大内病院	Image max II	横河	平成 元年 2月	100人
丹羽病院	VERTEX 3000	横河	平成 2年10月	35人
林 病院	Image max II	横河	平成 3年 2月	40人
小田原循環器病院	Xpeed	東芝	平成 2年 8月	40人
白鷗病院	TCT-300	東芝	平成 元年 3月	50人
曾我病院	TCT-300	東芝	昭和63年 7月	50人
高台病院	CT-W400	日立	昭和62年 9月	110人
北小田原病院	CT-W3-40	日立	平成 2年 5月	人

今回は5年ぶりに各施設のCT・MRのリストを作成してみました。前回調査1987年の時点でCTが11台西湘地区で稼動していましたが、今回はCT18台、MR3台となっており半数以上の施設が、2台目、3台目のCTを導入していました。

1975年東京女子医大に日本で初めてのCT、EMI社頭部用MARK Iが稼動してから17年の間に西湘地区だけでもこれほど多くのCTが導入され、かつMRも各施設で導入を検討されている昨今において、正に時代の流れを映したリストといえるのではないのでしょうか。

# 施設紹介

## 富士フィルム健康管理センター X線室

杉本 津子夫 ・ 山田 孝

過去（昭和60年秋）に西湘技師会主催による足柄工場見学とF C R実習及び勉強会が当センターで行われたり、3年程前には神奈川県C R研究会が宮台開発センター、富士機器工業（株）を見学された事等で当センターやこの周辺をご存じの方も多いと思われます。足柄工場は近代的な高層ビルが目立ちますが、ここのセンターは工場南側の樹木に囲まれ、有名な庭園を思わせる豊富な古木や四季を通じて集まる野鳥の宝庫とも言えそうな清閑な雰囲気の中に、年輪が忍ばれる各平屋建て建物の集合体です。

かつて飯塚 芳郎先生が永く勤務されていた職場でも有ります。

### （沿革）

昭和 9年 1月 富士写真フィルム株式会社創立

昭和17年 2月 富士フィルム附属診療所創設

昭和22年 8月 富士フィルム附属病院に改組

昭和24年 4月 X線室を新設

昭和48年 3月 富士フィルム健康管理センターに改組

主に社員の健康管理を目的とした定期健診，特殊健診，成人病健診，その他健診等を実施すると共に、地域住民の外来診療も合わせて行っています。

### （概要）

スタッフ構成は医師，歯科医師，保健婦，看護婦，栄養士，診療放射線技師，臨床検査技師，歯科衛生士，事務局等総員約40名です。

内科診療業務は常勤医師1名，非常勤医師5名

歯科診療業務は常勤医師1名，非常勤医師3名

足柄工場のみならず、他事業場への出張診療も行われています。

同時に工場内で働く社員の職場環境を保全，充実させる目的で、産業医でも有る松浦所長及びこれに関係する社内環境安全部等が協力体制を取っています。

更に当センター内には分析室を備えています。分析室の役割は有機溶剤を主とする化学物質の安全を図る為の環境分析，代謝物の検査等を行っています。

又、保健婦3名，栄養士1名による保健指導，栄養指導も工場内出張体制を充実させつつ積極的な取り組み方が高い評価を得てきています。

そして健診データを管理する中央電算システム化にも専任スタッフを投入し展開している事も特徴的と言えるでしょう。

(X線室)

- 昭和29年 5月 X線断層撮影装置設置  
昭和32年10月 X線装置GE社製 MAKICICON-KX 8-8 設置  
昭和48年10月 X線テレビ装置設置  
昭和49年 4月 社員胃集検(直接撮影)開始  
昭和53年11月 胸部間接撮影を70ミリから100ミリにする。  
昭和60年 8月 FCR501装置設置  
平成 元年 8月 X線テレビ装置更新  
平成 3年 9月 FCR装置更新

昭和60年8月、西湘地域の先陣をきってFCR立位専用装置が当センターに導入されて以来、昨年の8月まで胸部健診に威力を発揮して来ました。

しかし、足柄工場に限らず他の事業場での健康管理室の充実を図るべく第一歩として小田原工場のFCR化を達成させるのに関連して、昨年9月当センターのFCRの更新増設を図り全面FCR処理体制が可能となりました。

(現在のX線装置)

撮影室	1.	断層装置	島津HL-5
撮影室	2.	XTV装置	島津ZS-40
		一般装置	島津CH-20
撮影室	3.	胸部用装置	島津SM-150 コンデンサー式
歯科室	1.	デンタル	シーメンス HELIODENT70
		パノラマ	シーメンス オルソパントモOP-5
歯科室	2.	デンタル	東京エンジンSS-10

- (FCR装置)
1. FCR7000 (カセット/マガジン)
  2. FCR7501 (立位専用)
  3. FCR画像表示装置HIC
  4. 画像ファイル装置ODF (2ディスク)

この他、小田原工場健康管理室にFCR501(立位専用)装置が稼働予定。  
放射線技師2名で業務を行っています。

午前 外来撮影, 胃精検, 随時入社胸部撮影など

午後 定期健診, 特殊健診, 成人病健診などの胸部撮影

(小田原工場への出張撮影が加わる予定。)

今回、私達はFCR装置が充実した事で更なる有効利用を検討中です。

皆様のご来訪を歓迎致します。

以上

## 入会・退会欄

新入会員	小田原市立病院	宗像 達也
	印刷局病院	岩崎 豊
	小林病院	稲川 雅之
	足柄上病院	野川 義昭 (県職移動)

## 編集後記

梅雨入りも真近になったくもり空の下、久しぶりにオートバイで風になってみました。いつも車で見慣れた風景が、初夏の風の薫りとともに新鮮にみえてくる。西湘バイパスを西へ、ターンパイクを一気にかけ上がり、眼下に見下ろす小田原の町並と湘南の海、毎日の仕事に追われてこんな景色を見るのは何か月ぶりだろう。「X線写真上の微細な骨折線や病変をみるのを生業とする者として物の見方・考え方が、ミクロになってしまいがちなのは私だけでしょうか？新聞やテレビからはいってくる情報を自分の意見として消化できるマクロな視点の必要性、PKO法案が参院を通過するのも時間の問題の今、日本の将来、日本人の未来はどうなるのだろう・・・」ふとそんなことを考えながらまた、夕暮れの小田原に溶け込んでいった一日でした。

「とく」

